



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム  
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

第1323回 例会  
2017.5. 26(金)雨

司会:田中錦城君 指揮:山口辰哉君  
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 中山和雄君



こんにちは。今日例会前に理事会の臨時会合を行いました。内容は悲しい議題にうれしい議題の2件でした。1件目の悲しい議題は渡邊パスト会長と内田会員から退会届が出ましたのでその審議でした、2件目のうれしい議題は渡邊裕介さん、大橋永二郎さんの入会についての審議でした。2名の入会に

ついては事務局から書面で皆さんに通知いたしますのでよろしくお願いたします。またこのお二方には今日見えて頂いております。どうぞ例会の雰囲気を楽しんでください。

いよいよ今年度も来月のひと月を残すのみとなりました。何か形をとる事で米山幹事・渡邊パスト会長の提案で子供食堂について理事会、そして皆様に諮っていますが、早速石井守人さんがお米を30キロ提供して下さい、岡良森さんが夏野菜を子供たちに食べさせたいと、家庭菜園に取り組みトウモロコシ・スイカ・トマト・ナス等の作付したそうです。このような事で各自が出来る事を少しずつ持ち寄ることで大きな力となっていくのではないのでしょうか。

今日は鈴木真知子さんの紹介をさせていただきます。鈴木さんは1949年8月28日、一人娘として静岡で生を享け、幼少の頃から両親の愛と同時に期待を一身に背負って育てられ、小学生の頃は父親の仕事の関係で西伊豆に住み、近くの海で泳ぐのが大好きで、潜ってトコブシやシツタカを採り、また木登りも大好きで自然の中でのびのびとした生活を送っていたそうです。母親は小学校の教員でしたが、その後自宅においてもピアノ教室を開き鈴木さんも生徒の一人として習わされていましたが、しかし両親からは音楽で身を立てるのは容易ではない、これからは女性であっても一生続けられる仕事を身に着ける事が大事であるときりに言われていたそうです。母方の祖父が旧制菫山中の影響で、菫山高校に進み、進路指導の先生のご指導もあり東京で薬学部の大学に進学し、卒業後は通信病院(NTT東日本伊豆病院)にて研修し、三島市内の薬局でも修業して25歳の時、函南町で薬局を開業、その後函南の2つの中学と函南小学校の学校薬剤師を勤め、その間、小中学校で薬学講座を開いた事が静岡県でも初の事でしたので話題になったそうです。我がクラブも青少年育成事業で三島北中の2年生を対象に職場見学を受け入れ、

また我々が教壇に立ち講師を務め、それぞれの仕事の紹介や体験談などをお話していた年度もありました。

平成5年調剤薬局として現在のの上沢に移転し、近隣病院、医院の処方箋の対応、プロパーとの対応従業員の増加、病気の母親の看病と毎日戦争でしたが、平成7年3月母親を亡くしこの世の終わりのような喪失感を味わい、しかし翌月の4月には薬局を法人化し、悲しみに浸っている暇もなく「何事も諦めるな、前向きに生きよ」の母親教を心に刻み、何とか頑張り、平成14年には三島市大場に支店めぐみ薬局を開業して、従業員の皆さんにも恵まれ今日まで43年間・現在に至っていますとの事でした。高校生活では女子が少なかったそうですが今でも仲良くしてお客さんとして来てくれる人もいて、地域と共に展開する調剤薬局としてはお客さんとのコミュニケーションや信頼関係作りがもっとも重要な課題として取組み、初めて会った方々とも会話の中で笑顔が増えて行く事に幸せを感じます。との事です。教員であったご主人も定年を迎え子供好きであったこともあり、梅名で幼稚園を開業し第2の人生を元気にまっとうしておるそうです。

当クラブに入会したのは、矢岸パスト会長が女性の入会を勧めておられ、根津ドクターと二人にスポンサーになっていただき、入会させて頂き、その後根津ドクターが亡くなった後調剤薬局としては大変な時もありましたが例会に来ると兼子パスト会長や澤田パスト会長それに会員の皆様との会話に元気づけられ何とか立ちなおる事が出来、これからも患者さんの気持ちに寄り添い、皆さんの健康をサポート出来る様な薬剤師を目指して研鑽していきたいと考えているそうです。そして「今更ながらですが皆様のように社会的にも高い見識、知識をお持ちの方々と一緒に出来る事に感謝し、またロータリーアン・人として最高の頂点を目指したい、それには奉仕の心を実践出来る事、心から他人の幸せを自分の幸せとして感じる事が出来る人になりたい」と思っております。」との事でした。以上鈴木真知子さんの紹介でした。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	23/35	65.71%	29/35	82.86%
今回	22/36	61.11%	会員総数	39名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

内田君、大村君、勝又君、加藤君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(政)君、鈴木(真)君、中本君、服部君、原君、兵藤君、山口(雅)君、山本君

(\*出席免除会員の欠席者 大房君、片野君、渡邊君)

## 卓話

藤川智徳君

### 入会しての感想

ロータリークラブに入会してから半年以上が経過し、細かいところはまだまだ理解していませんが、なんとなくの空気感をぼんやり感じるようにはなりました。

4月の地区協議会の分科会では140人ほどの新会員が出席されていましたがロータリー会員は減少傾向にあることを考えると、数字上は年々これ以上の方々は何らかの理由で退会している現実があると思います。事実、自分が入会してからもとても大切な仲間が一人、最も悲しい形で会えなくなる事態となりました。今、自分が感じることは現役のロータリアンとして、またチームせせらぎの一員として存続していくことの価値。またそれと同時にロータリーをきちんとやっていくにはどうしたらいいのか。自分自身が続けていけるにはどうしたらいいのか。その要件を自分なりに考えてみました。(自分なりの十カ条)

- 一、例会に出席できる時間をつくれること。
  - 二、皆とそれなりに仲良くやれること、または可愛がってもらえること。
  - 三、自分自身が先ず楽しめること。
  - 四、やる気を含め、ロータリアンとしての自覚を持っていること。
  - 五、職業奉仕・社会貢献の精神を持ち合わせていること。
  - 六、自分がやるべきことを理解できるか、どうか。
  - 七、行動できること。
  - 八、会費が払えること。
  - 九、健康でいられること。
  - 十、今後、新しい仲間を迎えられるか、どうか。
- 今の自分が考えられることはこんなことです。  
また今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

大庭靖貴君

昨年の9月に入会し8ヶ月が経ちました。  
はじめは何もわからず入会し、今でも何もわからずこの先ロータリアンとしてやっていけるのか不安な毎日ですが、先輩方がとても素晴らしい方々ばかりで、私に気遣いをさせていただきフォローもしていただききとても感謝しております。  
入会后ロータリークラブの活動で1番思い出に残っていることはタイ自転車贈呈式に参加したことです。  
今まで海外には旅行でしか行ったことがなく自転車を贈呈するなど考えたこともありませんでした。  
実際参加してみましたがこのような体験は誰でもできるわけではありませぬので、そこでロータリアンになったということ初めて実感できました。  
それ以外の活動でも今まで体験したことがないことばかりでとても良い経験をさせていただいております。  
今後少しでも先輩方に近づけるように色々見習わせていただいておりますので今後も宜しくお願い致します。

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

大橋永二郎さん(会長のゲスト)  
渡辺裕介さん( " )

## おめでとう

会員誕生日 5月31日 山口辰哉君



## スマイルボックス

岡 良森君: 私事で申し訳ございません。6月、7月例会欠席が多くなります。8月には元気に戻ってきます。人生初の脳ドックで動脈瘤が発見されました。皆さんにも受診をおすすめいたします。

田中錦城君: お久しぶりです。スマイルします。

石井和郎君: 来週欠席しますので、スマイルします。



## 今日の料理

